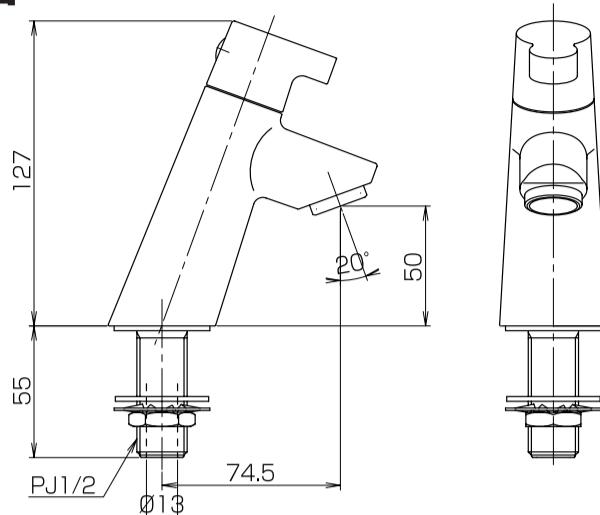
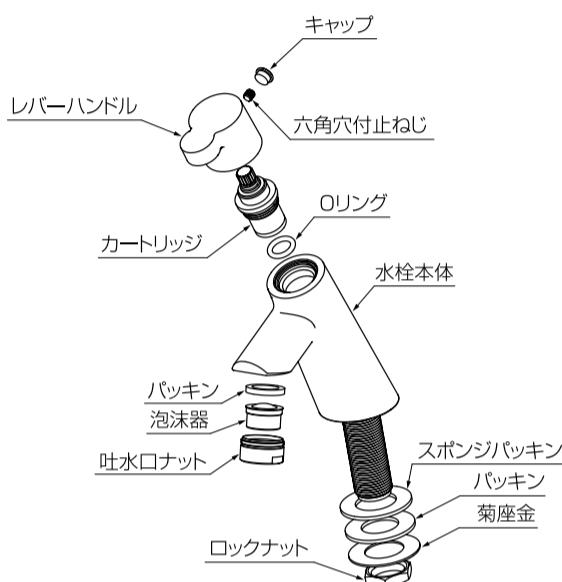


商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。  
なお施工完了後、この「施工説明書」と「取扱説明書」はお客さまにお渡しください。

## ●寸法図



## ●分解図



## ●安全上のご注意

### お客様へお願い

- 取付工事は必ず工事店に依頼してください。ご不明な点がありましたら工事店または、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書はお読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

### 取付工事店の方にお願い

- ここに示した[警告・注意]は状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付工事は、水道法、その他の法令および地方自治体の条例、規則など各種法規にしたがって行ってください。
- 工事または取扱いにあたって、ご不明な点がありましたら、当社アフターサービスまでお問い合わせください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

### 用語および記号の説明



…… この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です



…… この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

## ! 警 告

水道水の水質基準に適合した水以外には取り付けないでください。 !

## ! 注 意

- 流量調節のため、止水栓（別売品）を取り付けてください。

※使い勝手や性能発揮のために流量調節をしてください。とくに水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。、

- 給水圧力は0.05~0.75Mpa{0.5~7.6kgf/cm<sup>2</sup>}です。

給水圧力が0.75Mpa{7.6kgf/cm<sup>2</sup>}を超える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力(0.20Mpa{2.0kgf/cm<sup>2</sup>}程度)に減圧してください。

### 取付けに際して

- 同梱の部品以外は使用しないでください。
- 各接続部は、水漏れのないように確実に接続してください。
- 器具に強い力や衝撃を与えないでください。

※器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。  
※めっきの表面が割れて、けがをする恐れがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

### 取付けた後で

- 最終点検時は配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。
- お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。  
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



## ●施行前のご注意

- 給水は上水道に接続してください。  
※温泉など異物を多く含む水には使用できません。
- 開栓、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
- 流量調節や取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売品）を取り付けて止水栓の点検口を設けてください。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

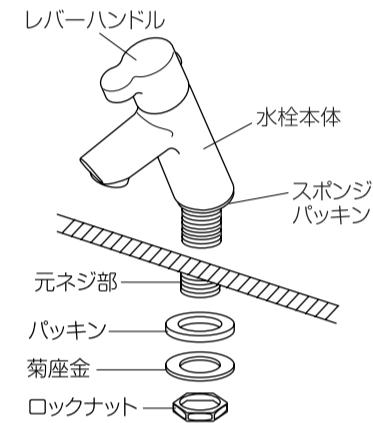
## ●取付手順

- 給水管内の清掃  
配管工事後、必ず給水管内を清掃してください。

- 止水栓（別売品）の取り付け。

### ●本体の固定

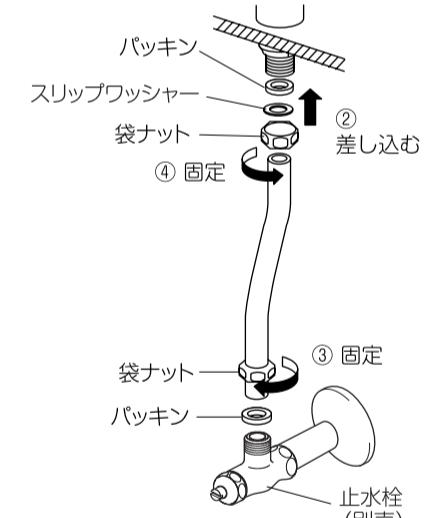
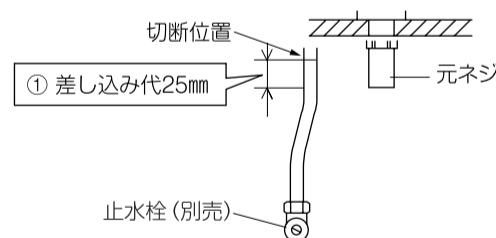
- ・本体部の元ネジ部より、取付ナット類を取りはずします。
- ・手洗器の取り付け穴に、本体部の元ネジ部を差し込み、下からパッキン、菊座金、ロックナットで取り付けてください。



## ●止水栓との接続

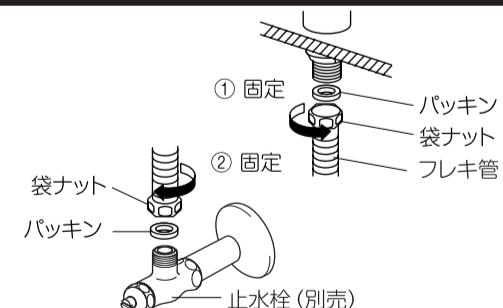
### 銅管接続の場合

- ①止水栓の銅管を図の位置で切断してください。  
このとき元ネジへの差し込み代は25mmを確保してください。
- ②必要な長さに切断した銅管に袋ナット、スリップワッシャー、パッキンの順に通し、銅管を元ネジ部に差し込みます。
- ③もう片方の銅管の袋ナットにパッキンをはさんで止水栓に固定します。
- ④元ネジ部と袋ナットを固定します。



### フレキ管接続の場合

- ①フレキ管の袋ナットにパッキンをはさみ、止水栓に固定します。
- ②もう片方の袋ナットにパッキンをはさみ、元ネジ部に固定します。



## 取り付け後の点検と清掃

### 通水確認

[△ 注意] 水栓を取り付け後、通水して水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

### 泡沫器清掃のお願い

吐水口の泡沫器にゴミ等がつまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書 「日常のお手入れ・保守」参照

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

## ●安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 用語および記号の説明

#### 注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

- 「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- 「分解してはいけません!」
- 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

### 警告

小さいお子様だけの使用は避けてください。

※けがをする恐れがあります。



### 注意

凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。寒冷地の場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

※漏水で家財等を濡らす財産侵害発生の恐れがあります。



レバーハンドルを操作するときは、レバーを持って操作してください。

※レバー以外をつかんで操作すると、指をはさんでケガをする恐れがあります。



修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

※ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。



器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。

※器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

※めっきの表面が割れて、けがをする恐れがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。



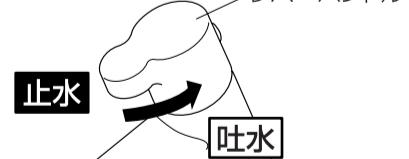
## ●ご使用方法

### 各部の名称



### 吐止水方法

レバーハンドルを右へ回すと吐水します。  
正面位置で止水します。



#### [△注意]

レバーハンドルは無理な力を加えずゆっくり操作してください。急な操作や無理な力での操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## ●お手入れ方法

### 【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。



### 【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭きします。

### 【使ってはいけないもの】

水栓には樹脂部分が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがあるので、使わないでください。

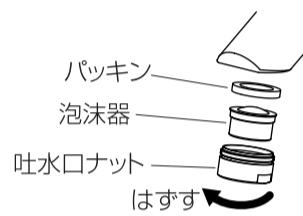


【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

### 泡沫器の清掃方法

吐水口の泡沫器にゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

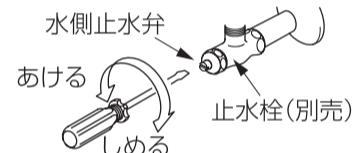
- ①吐水口の吐水口ナットをはずす方向にひねって、泡沫器を取りはずします。
- ②泡沫器をブラシで水洗いします。



清掃後は、はすした逆の手順で組み立ててください。

### 流量の調節方法(止水栓は本製品に同梱されていません。別売です)

流量は右記の調節方法で行ってください。レバーハンドルが全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。



図は一般地仕様です。

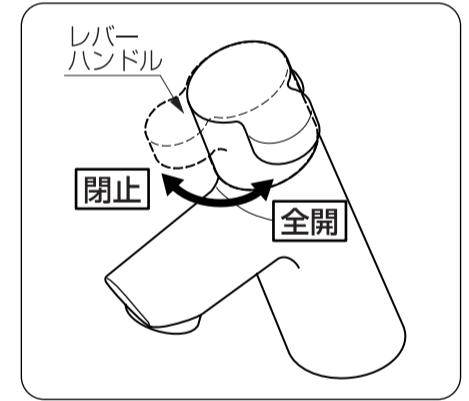
## ●冬期凍結の恐れがある場合

### 【寒冷地の場合】

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

- 1.配管の水抜栓を操作する。
  - 2.レバーハンドルを全開にする。
  - 3.水栓の水が抜けたらレバーハンドルを閉める。
- ※開けたまま放置するとレバーハンドルを閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

※再通水前には配管の水抜栓を閉めてください。



## ●アフターサービスについて

使用年数

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

お客様による日常のお手入れ・点検

▲  
取付  
日

消耗部品の交換

買い替え  
ご検討

摩耗劣化部品の交換

## ●修理を依頼されるとき

### 連絡していただきたい内容

- 1.ご住所、ご氏名、電話番号
- 2.商品名
- 3.品番(商品に表示、「各部の名称」の項(P.3)参照)
- 4.ご購入日
- 5.故障内容、異常の状況
- 6.訪問ご希望日

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています。

アフターサービス等についておわかりにならないとき  
《修理のご依頼は》求め取扱店または当社アフターサービスへご相談ください。

### ■アフターサービスのお問い合わせ(フリーダイヤル)

0120-117-817 受付時間/9:00~18:00 定休日/土・日・祝日